

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

学校名【広島県立湯来南高等学校】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	全学年
3 展開の形式	() 教科で実施 教科名 () (○) 教科以外で実施 (ロングホームルーム)
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピックムーブメントを波及させ、東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成を図る。 東京オリンピック・パラリンピック大会そのものへの興味関心の向上だけでなく、スポーツへの価値への理解を深めるとともに、規範意識の涵養、国際・異文化理解、共生社会への理解につなげる。
5 取組内容	事前学習は特に行っていない。 事後にアンケートを記入させた。
6 主な成果	東京オリパラの理解関心が高まった。オリパラ並びにスポーツの意義や価値に理解関心が高まった。東京オリパラを試合会場へ直接行く、自宅のテレビで見るなど観戦したい気持ちが高まった。障がい者を含めた多くの市民と生涯にわたってスポーツに進んで参加したい気持ちが高まった。スポーツを通し自分で考え行動する力を身につけたり、仲間との人間関係を構築したりすることができると思えるようになった。
7 実践において工夫した点(事業の特色)	前日も今回もメダリストに来ていただき、直接生徒たちに触れさせてもらった。普通なら一生に一回も体験できないことを体験することで生徒たちの感動は大きい。
8 主な課題等	講師のみなさんは、何も特別なことはしていないと言われるが、生徒たちは、そうは言っても自分らには出来ない、この方々とは所詮違うんだという見方が大半であるような気がする。そのあたりのギャップを埋めるために、話す時間が少ない中、限界はあるが、自分は今までこうしてきたという話とともに、こういう時にはこうしたらどうかというような提案するような話をもっとして欲しいと思う。
9 来年度以降の実践予定	これまで通り、オリンピック・パラリンピックの話を生で聞くことで刺激を受け、今後の生き方に役立ててほしい。